

令和3年第4回定例会一般質問順序表

12月16日～17日

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
1	2	東成一	1 新型コロナウイルス感染症対策について	1 今後のワクチン接種について	1 新たな変異株への警戒感が強まる中、ワクチンの3回目接種は感染拡大防止や、重症化予防には、有効とされています。そこで、赤平市においてのワクチン3回目接種の実施についての考えを伺う。	市長
			2 赤平市地域公共交通について	1 実証運行及び今後の実施計画について	1 赤平市地域公共交通実証運行が開始となり、約半月が経過しているが、現段階での利用登録者の申請状況と今後、本格運行に向けての考え方を伺う。	市長
2	3	鈴木明広	1 行政改革について	1 業務の棚卸について	1 棚卸とは、本来は商業の簿記の用語にある在庫商品の価格を評価するために棚から商品を出して数量や品質を調査することである。滋賀大学の横山幸司博士は、行政の「棚卸」により、今まで見えなかった業務が明らかになる。また、費用対効果や不適切なプロセスが明らかになると指摘している。数多くの前例踏襲型の業務にチェックを入れて業務全般を見直し、業務における精度の高い優先順位をつけるためには、「棚卸」を行うべきであると思うが、見解を伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
2	3	鈴木明広	2 自治体 デジタル/トランスフォーメーション(DX) 推進計画について	1 EBPМ (Evidence-Based Policy Making) 証拠に基づく政策立案のための人材確保について	1 総務省の、「自治体デジタル/トランスフォーメーション(以下DX)推進計画」は自治体のDXを2026年3月まで推進する計画である。その目的の中核をなすものに、「EBPM」がある。根拠となるデータが価値創造の源泉であることを基本理念として、バイアス(人為的、情緒的偏り)を排除し、精度の高い統計的なデータ整備を行い、それに基づいて費用対効果の高い施策を立案することである。しかし、一般的に、EBPMの実施プロセスに対応できる専門性の高い人材確保は、過疎地では難しいとされる。赤平市においては、今後データサイエンス及び統計学にかなり精通した人、言い換えると、高品位データリテラシー(データ読解力)を有する専門性が高い人材をどのように確保するか伺う。	市長
				2 CIO (Chief Information Officer: 最高情報統括責任者)を補佐するCIO補佐官の外部専用人材活用について	1 DX専門の人材難に直面することが容易に予想される地方自治体が、果たして独自の裁量でCIO補佐官を採用することが可能であるか、非常に懸念されるところである。総務省が示唆するように外部専門人材(デジタル関連民間企業雇用者)を採用すれば、自治体と委託・請負関係というステークホルダーを任用することになる蓋然性が高まる。つまり利害関係者が、自治体の意思決定に影響力を行使できる可能性が高まり、その結果として自治体による意思決定の公正性がゆがめられる恐ればかりでなく、また、DXにおいて標準化・共通化される17の自治体基幹業務の情報の漏洩の危険性も危惧されるところである。当市はこのような懸念を未然に払拭するために、どのようなCIO補佐官を採用する計画なのかを伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
2	3	鈴木明広		3 DXによる情報システムの標準化・共通化による自治体独自の行政サービス運営の影響について	1 自治体DX推進計画の重点取り組み事項として、「自治体の情報システムの標準化・共通化」があり、その中身は「目標時期を2025年度とし、「(仮称)Gov-Cloud」の活用に向けた検討を踏まえ、基幹系17業務システムについて国の策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行」とある。しかし現実的には地方自治体は独自のサービスを住民に提供している。国のめざす標準仕様のシステムとは相容れない独自の施策を実施するとなると、利用者の好みや要求に応じて調整したり、変更したりする、カスタマイズを行う必要に迫られる。市町村単独でカスタマイズを行うのは国の助成金なしでは費用対効果の観点から非効率となることが想定される。当市はこの問題にどう対応するのか伺う。	市長
			3 コロナ感染症について	1 コロナ禍が子供と脳に及ぼす影響を勘案した子供のための新しい教育環境について	1 「コロナ禍が子供の脳と心に及ぼす影響」に関する寄稿文を読んだ。コロナ禍以降の非接触型コミュニケーション、オンラインは子どもの発育に問題がある。「感受性期」には相手の目や口元を見て真似をすることにより、言語を獲得する。マスクの着用による目だけのコミュニケーションは極めて難しい。保育・教育現場で子どもの脳と心を育む環境を従前のスタイルを限りなく取り込んだ新スタイルのあり方を検討すべきと考えるが、見解を伺う。	教育長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
2	3	鈴木明広		2 社会福祉施設等における面会について	1 厚労省は11月19日に「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が決定し、「地域における発生状況等も踏まえるとともに、利用者、面会者等の体調やワクチン接種歴、検査結果等も考慮し、対面での面会を含めた対応を検討すること」との方針を示した。具体的には管理者が、面会時間や回数、場所を含めた面会の実施方法を判断すること。ただし入所者や面会者がワクチンを接種していないことを理由に不当な扱いを受けることがないように留意し、ワクチンを接種していない入所者や面会者も交流が図れるよう検討することとある。社会的に孤立した個人は、いくつかの研究で、死亡リスクが高いことが判明しています。本市では通達を踏まえ今後どのような面会を行う方針であるかを伺う。	市長
			4 人事管理制度について	1 会計年度任用職員の待遇等について	1 市町村の会計年度任用職員の人員配置、異動について、他市で不適正な待遇が行われた事例があると聞いているが、私は、人事管理においては、特に次の3点に注意すべきだと考えます。 （1）任期付短時間勤務職員や会計年度任用職員の人事異動にあたっては、職場に混乱を生じないように適切な配慮を行うこと。 （2）定年まで年数の少ない人を異動させないこと。 （3）業務実態を無視して、業務に支障がでるような職員の大幅な入れ替えなど、職場・職員に負担のかかる異動は行わないこと。 である。本市ではどのような対応を行っているか伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
3	5	北市 勲	1 市政運営について	1 第6次赤平市総合計画の遂行について	1 第6次赤平市総合計画における実施計画のタイムスケジュール作成を数回にわたり求めてきましたが、その都度実施計画を出しますとか早急に策定し示しますとの答弁をされていますが未だに示されていませんが何故なのか伺う。	市長
			2 市民憲章について	1 第3項「きれいな花と緑でまちをつつみましよう」について	1 赤平市民憲章は、5項目からなっており、特に第3項の「きれいな花と緑でまちをつつみましよう」については、どの様に捉え、どの様な努力をされてきたのか、今後の憲章の実現にむけての活動について伺う。 2 統合中学校及び来春開校予定の統合小学校の周辺やグラウンド周辺の緑化についての考えを伺う。	市長 市長
4	1	若山 武信	1 コロナ禍に於ける企業維持・存続への支援体制について	1 救済必要な企業への継続支援について	1 長期化するコロナ禍のもと、当市では企業支援として雇用継続支援金、中小企業等事業継続支援金等の支援が複数回にてなされ、この度の12月定例会にも新たな支援策が提案されている。しかし、オミクロン株という新たな新型コロナウイルスの出現により更なる長期化が想定され、また、これまで耐えてきた企業も今後は限界を超えるような試練に見舞われること等が予測され、今後は支援ではなく救済が必要となってくる企業が増えてくるかと思われる。かつては炭鉱町として栄え、閉山後の誘致企業によって支えられてきた「ものづくりのまち赤平」を今後どのようにして守り、維持・存続させていくかについて行政の考え方を伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
4	1	若山武信		2 「ともに支え合うマチづくり」について	1 今後、更にコロナ禍が長引くと当市でも失業者が少しずつ増えてくることが予測される。他市では、仕事を失った人たちの救済に企業が畑仕事や草刈り、各種軽労働等の作業を斡旋しコロナ禍の生活支援に役立させている自治体もある。加えて、当市には中小企業が多くコロナ禍でも平常経営している会社もあり、一步進めて、失業者を商工会議所や各種企業の協力を得ながら市内にて、緊急避難的に就職できる仕組みづくりを検討する必要があるのではないかとと思われる。職を求める人と人が足りない企業とのマッチングを目指し、人口流出を少しでも食い止めるために市の助成金活用も含め、「ともに支え合うマチづくり」についての構想を検討するべきと思うが、行政の考え方を伺う。	市長
			2 空き家を無駄にしないマチづくりについて	2 行政・商工会議所・企業一体の移住・定住策の促進について	1 現在市内に約390戸の空き家がありその安全対策に追われているとのことだが今後、更なる高齢化と自然減で空き家はますます増えることが想定される。現在、赤平市の企業で働く従業員の約40%は市外からの通勤者。中には60～70%の企業もあるとのこと。このことから、当市からの転出者の移転先や住宅の利活用・除却の有無等を行政が把握、民間企業との連携で良質な住宅を改修、補助金等の活用(新設)にて売却や貸与も格安とし、40%の市外通勤者のうち公住や貸家から通勤している人に各企業から働きかけてもらい、少しでも多くの転入者の獲得を目指す。赤平市の各企業で働いている人は当市に税金を納めて頂きたく、お買い物は赤平で…が理想。損して得取れ…が必要。企業の人材確保にもつながる。官・民の良質な空き家活用による格安もしくは無償住宅の提供による市内外からの住み替え、及び道内外から当市への移住・定住を促進する考え方について行政の考え方を伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
4	1	若山武信	3 子育て支援について	1 子育て支援センターの在り方について	1 現在の子育て支援センターは4年前に保育所の収容能力が限界として市コミセン別館の二階に設置された。当時議会でも、傾斜の強い特殊な？つくりの階段がある二階に、乳児を含む3歳までの幼児を扱う部屋の設置には疑問があったが、適切な場所がなくやむなしとなった。現在も、複数の幼児を連れての母親には昇り降りは危険な個所であり、日常的に子供を預かる施設担当者は緊張の毎日である。また、トイレが二階にないため、子供のトイレのしつけもままならない状況にあり、夕方開催の隣接する音楽室の音も環境上幼児にはよくないのではと思われる。最近、少子化による利用者減少のため、一部児童館の廃止が決定したが、総合体育館内の児童館も該当しており、旧児童館は使用が可能なので、利活用として子育て支援センターの移転を急ぐべきと思うが行政の考え方を伺う。	市長
			4 障がい者雇用対策について	1 当市の障がい者雇用率と雇用状況について	1 令和3年3月1日より障害者雇用促進法の法定雇用率が0.1%引き上がった。民間企業では2.2%⇒2.3%、国及び地方公共団体は2.5%⇒2.6%、ここ数年間の当市並びに民間企業の雇用率及び雇用状態について伺う。	市長
			2 障がい者の人材育成と今後への対応について	1 私は赤平市身体障害者福祉協会に籍を置いているが、当身障協会としても、障がい者等が希望や能力・適性を十分に活かし、障がいの特性に応じて活躍することが普通の社会として、また、障がい者とともに働くことが当たり前の社会…であることを目指し、障がい者の雇用対策を進めている。現在、障がい者の人材育成を必要としているが、当市での今後への対応について考えを伺う。	市長	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
4	1	若山武信	5 除雪問題について	1 シルバーハウジング除雪への対応について	1 かつてシルバーハウジングでは管理人が住み込みにて勤務，除雪作業は管理人と元氣な人が加わり問題がなかった。現在は，管理人の勤務時間が日中の8時から17時までであり土日・祭日は休みで，その間は除雪する人はいなく比較的体力がある少数の人に除雪がゆだねられている。「除雪できなくなったからこの施設に入ったの…」との声も聞こえてくる。今後のシルバーハウジングの除雪対応について，考え方を伺う。	市長
5	4	安藤 繁	1 災害対策について	1 防災行政無線について	1 防災行政無線の試験放送の実施状況と結果の把握，分析について伺う。 2 防災行政無線の有効活用について，災害に関する情報や国民保護情報の他，どのような活用方法を考えているのか伺う。	市長 市長
			2 環境問題について	1 ごみの不法投棄対策について	1 桜木町と住吉墓地の道道区間について道路管理者と不法投棄防止に関してどのような協議，取り組みをして来たのか伺う。 2 防犯カメラの設置費用に関して，設置の考えについて伺う。	市長 市長
			3 児童福祉について	1 放課後子供教室と赤平児童クラブについて	1 赤平児童クラブの午後5時以降の預かり事業に際し，間食の提供について市長の考えを伺う。 2 長期休暇中のスクールバスの運行についての考えを伺う。 3 赤平児童クラブの開所に係る時間の設定をどのように考えているのか伺う。	市長 市長 市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
5	4	安藤 繁	4 石油製品等の高騰について	1 石油製品等の高騰で経営が圧迫されている中小企業や小規模事業者への対策について	1 石油製品等の高騰で経営が圧迫されている中小企業や小規模事業者への助成金等の給付について、どの様に考えているのか伺う。	市長
6	7	木村 恵	1 一般行政について	1 市長の公約について	<p>1 令和元年第2回定例会において市長は所信表明で「市民との対話を交えた政策決定プロセスの確立において市民アンケートの実施と、事業の決定過程の透明化の2点が公約だ」と述べた。どのくらい達成できていると考えているか伺う。</p> <p>2 市民アンケートについて、その中で、「行政活動の目標は言うまでもなく住民福祉の向上に置かれている。現状を知り改善を意図する方針で、アンケートを行い、各施策に結び付けていきたい」と述べているが、この3年間で住民福祉はどの程度向上したと考えているか伺う。併せて、来年度についても同様のアンケートは実施する考えか伺う。</p> <p>3 事業の決定過程の透明化について、「事業が正式決定されるまでの過程で、事業の具体的な内容や見積もりなどの行政情報が市民に提供されることはこれまでほとんどなかった。その事業が本当に地域にとって必要か、事業規模が人口規模や住民負担に照らして適正か、長期的に高い利用度が見込まれるか、代替案はあるかといったことは、行政側から積極的に市民へ情報提供し、市民の視点で吟味した方が望ましいと考えている」と述べられているが、どのくらい情報提供できているか伺う。</p>	市長 市長 市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
6	7	木村 恵		2 来年度予算編成について	<p>1 任期最終年度となる令和4年度の予算編成が始まっていると思う。第6次赤平市総合計画、第2期の総合戦略の中で、任期中にこれだけは実現したいというものはあるのか、また、どのような考えで予算編成していくのか方針を伺う。</p> <p>2 私は2期目の基本政策として福祉灯油の制度化、空き家の活用や危険家屋解消などの空き家対策強化、国民健康保険税の均等割りの減免などを訴えてきた。実現されたものも道半ばのものもある。この他にも加齢性難聴への補聴器購入助成、生理の貧困対策、前立腺がん検診などの提案もしてきた。来年度予算化について検討される考えはないか伺う。</p>	市長
						市長
			2 教育行政について	1 いじめについて	<p>1 いじめによる痛ましい事件・事故が相次いで報道されている。教育委員会への報告やいじめアンケート結果に対する対応などが問題視されているが、赤平市ではどのような対応を行っているのか伺う。また、教育委員会への報告についてインシデントと言える状況でも報告するなど基準は設けられているのか併せて伺う。</p>	教育長
				2 不登校について	<p>1 赤平市は、不登校児童生徒に対して、滝川市適応指導教室の利用と別室登校児童生徒への支援という形で対応されており、教育支援センターは設置されていない。それぞれの状況を伺う。</p> <p>2 不登校児童生徒への支援の在り方について、これからも滝川市適応指導教室と別室登校で対応していくのか。小学校統合に伴い保護者から心配の声などは出てきていないのか伺う。また、赤平市に教育支援センターを設置することについての考えを併せて伺う。</p>	教育長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
6	7	木村 恵		3 特別支援教育について	1 来年度から小学校が1校となるが、小学校の特別支援学級、通級指導教室はどのようになるのか。また、中学校の通級指導教室について来年度には開設されるのか伺う。	教育長
7	9	御家瀬 遵	1 畠山市長の残された任期の市政運営について	1 国政・道政及び近隣自治体との連携について	1 この度、私は国会議員と意見交換させていただく機会を得まして、今、赤平市ではどのような懸案があるのか聞われました。特に差し迫っているのは、小学校統合後の茂尻、赤間、豊里の各小学校校舎の有効利用が懸案である旨をお答えしたところ、国の方でも色々な制度があり、相談に来てくれば、赤平市のお手伝いをさせてもらいますとのことでありました。この事に対して市長の考えを伺う。	市長
				2 令和4年度の予算編成について	1 10月27日に行われた住民懇談会に参加しました。懇談会で市長はアンケート調査を継続して行うとのことでしたが、過去3回の調査結果では、商業振興などが上位改善項目になっているとのことですが、何が、どのように改善されているのか、市民の皆さんには実感がわからないとの意見がありました。改めて具体的な説明を求めます。 2 市長の公約であるアンケート結果と市長の政策予算は、任期の最終年度予算にどう反映しようと考えておられるのか、考えを伺う。	市長 市長